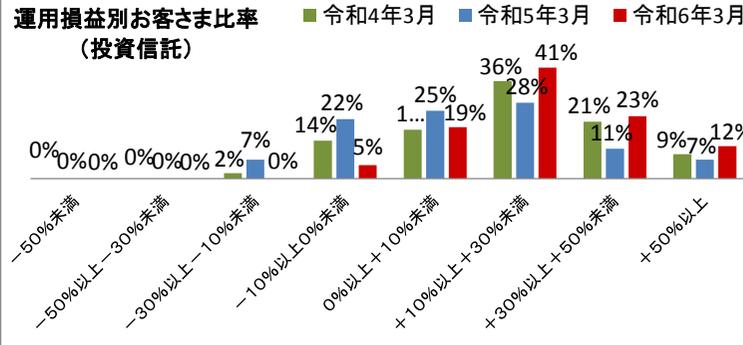


朝日信用金庫のKPI(成果指標)について (項番1~5は金融庁の定める共通KPIとなります)

令和6年6月  
朝日信用金庫

1. 投資信託の運用損益別お客さま比率 (令和6年3月末)

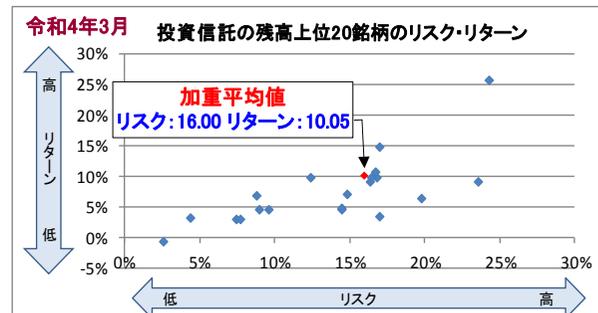
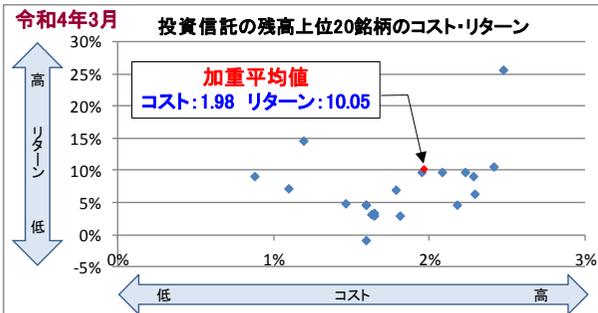
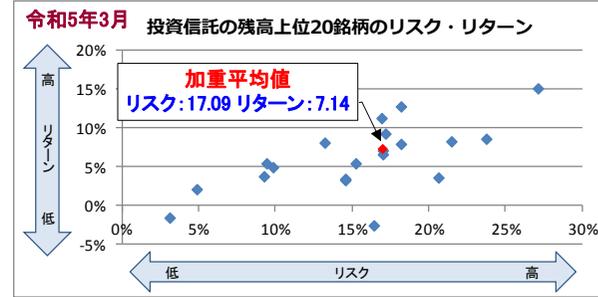
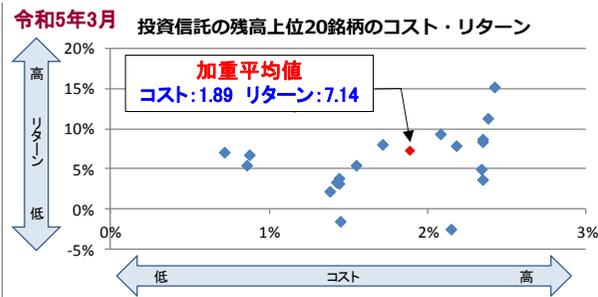
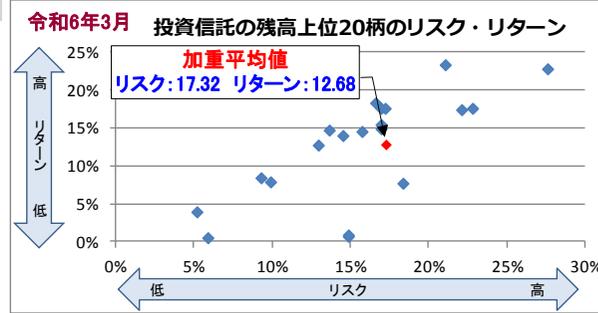
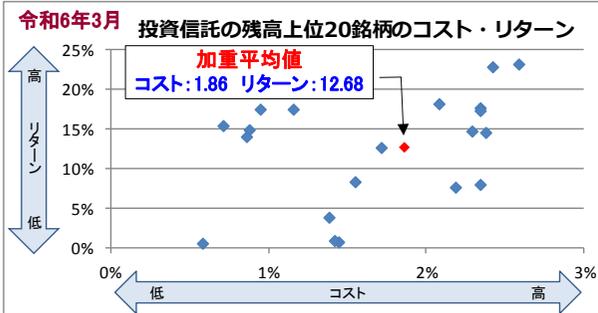
	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
+50%以上	9%	7%	12%
+30%以上+50%未満	21%	11%	23%
+10%以上+30%未満	36%	28%	41%
0%以上+10%未満	18%	25%	19%
-10%以上0%未満	14%	22%	5%
-30%以上-10%未満	2%	7%	0%
-50%以上-30%未満	0%	0%	0%
-50%未満	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%



※投資信託の運用損益別お客さま比率  
令和6年3月末時点で投資信託を保有しているお客さまの運用損益別の比率は、マーケット環境が堅調に推移したことや円安の進行により利益幅が拡大する状況となり、損益別のお客さまの比率は以下のとおりとなっています。  
\* 利益のお客さまの割合…95%  
\* 損失のお客さまの割合…5%

※投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターン  
※投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターン  
令和6年3月末時点の残高上位20銘柄については、マーケット環境が好調に推移したことから、リターンの加重平均が12.68%と前年(7.14%)を大きく上回る結果となりました。

2. 投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リターン  
3. 投資信託の残高上位20銘柄のリスク・リターン



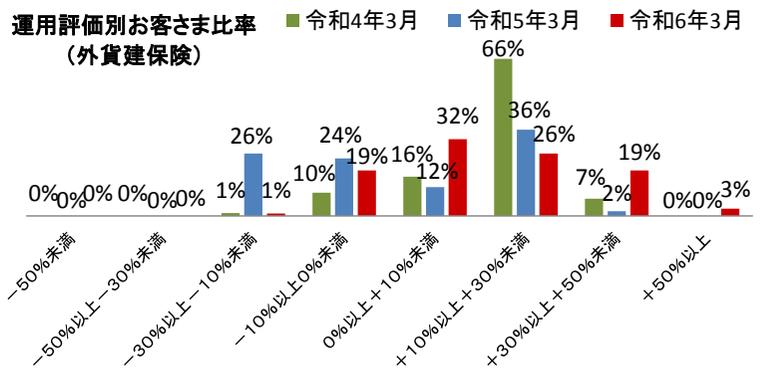
当金庫の残高上位20銘柄は以下のとおりです。(令和6年3月末現在)

No.	ファンド名	運用会社	コスト	リスク	リターン
1	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	2.18%	18.42%	7.66%
2	のむらっぴ・ファンド(普通型)	野村アセット	1.55%	9.29%	8.36%
3	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	三井住友TAM	2.35%	22.85%	17.55%
4	グローバルAIファンド	三井住友DS	2.43%	27.67%	22.74%
5	ダイワ・インド株ファンド	大和アセット	2.35%	22.13%	17.34%
6	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセット	1.45%	14.90%	0.65%
7	のむらっぴ・ファンド(積極型)	野村アセット	1.72%	12.98%	12.68%
8	米国株式配当貴族(年4回決算型)	野村アセット	0.95%	16.97%	17.54%
9	しんきんJPX日経400オープン	しんきんアセット	0.86%	14.58%	13.97%
10	グローバルSDGs株式ファンド	三井住友DS	2.29%	13.69%	14.70%
11	netWINGSテクノロジー株BHなし	ゴールドマンサックスAM	2.59%	21.15%	23.19%
12	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	アセットマネジメントOne	2.08%	16.66%	18.13%
13	GS社債/国際分散投資2018-10	アセットマネジメントOne	0.59%	5.96%	0.52%
14	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村アセット	2.34%	9.94%	7.87%
15	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセット	0.88%	17.00%	14.87%
16	のむらっぴ・ファンド(保守型)	野村アセット	1.39%	5.25%	3.76%
17	メディカル・サイエンス・ファンド	アセットマネジメントOne	2.38%	15.80%	14.47%
18	ストック インデックス ファンド225	大和アセット	0.72%	17.02%	15.39%
19	SMTAMダウ・ジョーンズインデックス	三井住友TAM	1.16%	17.24%	17.52%
20	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセット	1.42%	14.88%	0.78%

基準日：令和6年3月末  
対象ファンド：残高上位20銘柄(設定後5年以上)  
コスト：(販売手数料÷5)+信託報酬(年率)  
販売手数料は最低販売金額での料率(税込)  
信託報酬(年率)は、目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限(その他の費用・手数料は含まず)  
リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)  
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用  
リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)  
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用  
※上記は、将来における当金庫取扱いの投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

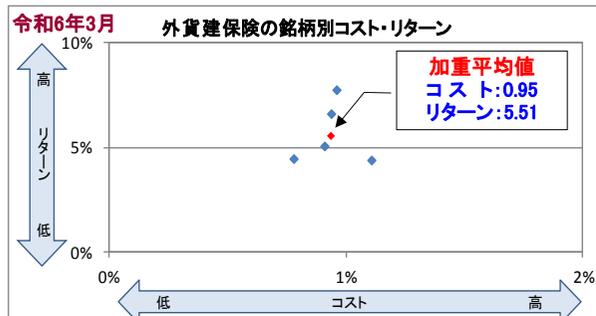
4. 外貨建保険の運用評価別お客さま比率(令和6年3月末)

	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
+50%以上	0%	0%	3%
+30%以上+50%未満	7%	2%	19%
+10%以上+30%未満	66%	36%	26%
0%以上+10%未満	16%	12%	32%
-10%以上0%未満	10%	24%	19%
-30%以上-10%未満	1%	26%	1%
-50%以上-30%未満	0%	0%	0%
-50%未満	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%



※外貨建保険の運用評価別お客さま比率  
 令和6年3月末時点で外貨建保険を保有しているお客さまの運用評価別の比率は、以下のとおりとなっています。  
 \* 利益のお客さまの割合…80%  
 \* 損失のお客さまの割合…20%  
 ※対象のお客さま・対象商品  
 \* 基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま  
 \* 基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険  
 <<ご注意いただきたい点>>  
 ※外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。  
 解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に契約後の早い段階に解約した場合には受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。  
 また、解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や外貨で受け取る場合の評価、死亡時の保険金とは異なります。

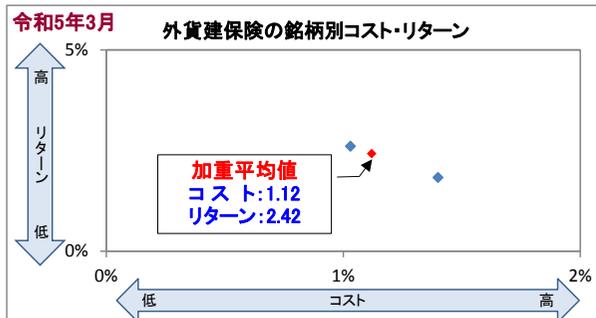
5. 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン



外貨建保険の銘柄別コスト・リターンは以下のとおりです。(令和6年3月末現在)

No.	ファンド名	保険会社	コスト	リターン
1	ふるはーとJロードグローバル	住友生命	0.91%	5.06%
2	たのしみグローバル(指数)	住友生命	0.96%	7.72%
3	たのしみグローバル(定率)	住友生命	0.94%	6.57%
4	エブリパディプラス	明治安田生命	1.11%	4.42%
5	おおきな、まごころ	三井住友海上プライマリー生命	0.78%	4.46%

※外貨建保険の銘柄別コスト・リターン  
 令和6年3月末現在、対象となる上記5商品のコスト・リターンの加重平均は、リターンが5.51%、コストが0.95%となり、好調な運用結果を反映した結果となっています。



基準日：令和6年3月末  
 対象契約：保険契約から60ヶ月以上経過した契約  
 コスト：保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出  
 リターン：(基準日時点の解約返戻金+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算  
 ※上記は、将来における当金庫取扱いの外貨建保険のリターンを示唆、保証するものではありません。

6. 外貨建保険の解約状況<<解約期間・ターゲット(目標値)設定割合>>

(令和6年3月末現在)

解約年数	解約件数	割合
契約から1年以内	73	0.8%
契約から2年以内	323	3.4%
契約から3年以内	711	7.5%
契約から4年以内	1,238	13.1%
解約合計件数	1,815	19.2%

契約総数	件数	割合
販売開始～令和6年3月	9,455	—
うち、ターゲット特約あり	930	9.8%
うち、ターゲット達成	479	5.1%

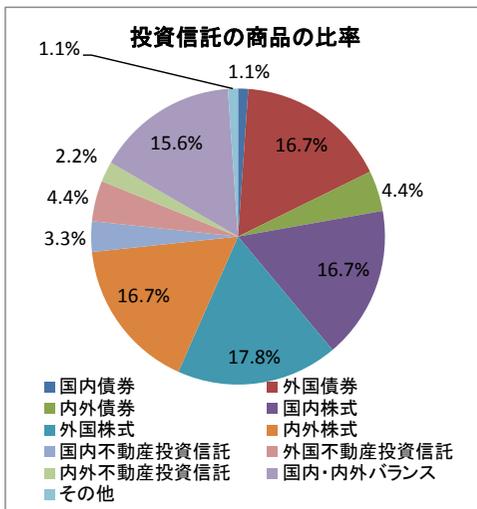
※解約件数には、死亡保険金の支払件数は含みません。  
 ※割合は、契約総数対比

※外貨建保険の解約状況(令和6年3月末現在)  
 契約から4年以内の解約は契約総数の13.1%で、保険契約全体では長期保有の契約が中心となっています。  
 また、ターゲット機能の特約を付加した契約は9.8%で、そのうち5.1%がターゲット(目標)を達成して円建保険に転換されています。

7. 商品ラインナップと比率

《投資信託》（令和6年5月現在）

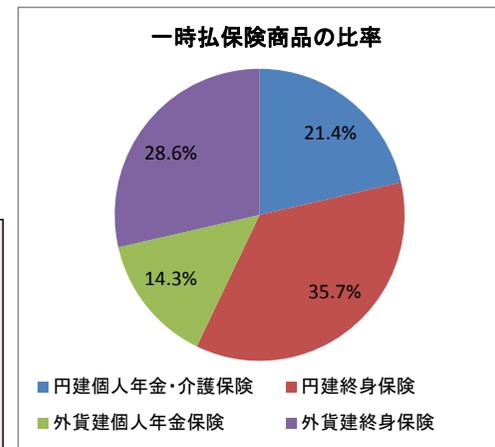
主な投資対象	商品数	比率
国内債券	1	1.1%
外国債券	15	16.7%
内外債券	4	4.4%
国内株式	15	16.7%
外国株式	16	17.8%
内外株式	15	16.7%
国内不動産投資信託	3	3.3%
外国不動産投資信託	4	4.4%
内外不動産投資信託	2	2.2%
国内・内外バランス	14	15.6%
その他	1	1.1%
合計	90	100.0%



※当金庫で現在販売している投資信託には、店頭デリバティブ取引に類する複雑な投資信託やレバレッジ投資信託といった複雑またはリスクの高い商品はありません。

《一時払保険商品》（全期前納含む）（令和6年5月現在）

主な投資対象	商品数	比率
円建個人年金・介護保険	3	21.4%
円建終身保険	5	35.7%
外貨建個人年金保険	2	14.3%
外貨建終身保険	4	28.6%
合計	14	100.0%



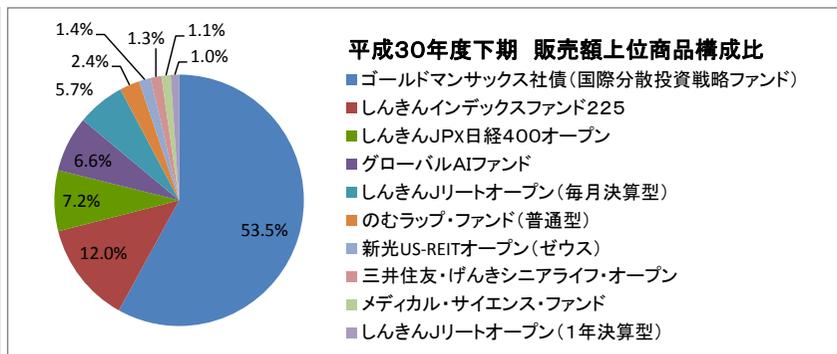
※商品ラインナップと比率  
 \* 投資信託については、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、国内外の債券・株式・不動産投信・バランス型の商品を取り揃えています。  
 \* 一時払保険商品では、資産形成や相対対策等お客さまの目的に合わせた円貨・外貨の商品を取り揃えています。（一部商品は販売停止中となっています）  
 \* 上記外貨建終身保険には、「円」を指定通貨として選択できる商品も含まれています。

※当金庫で現在販売している保険商品は、円建保険・外貨建保険ともに定額商品で、変額保険の取扱いはありません。

8. 投資信託の販売額上位商品

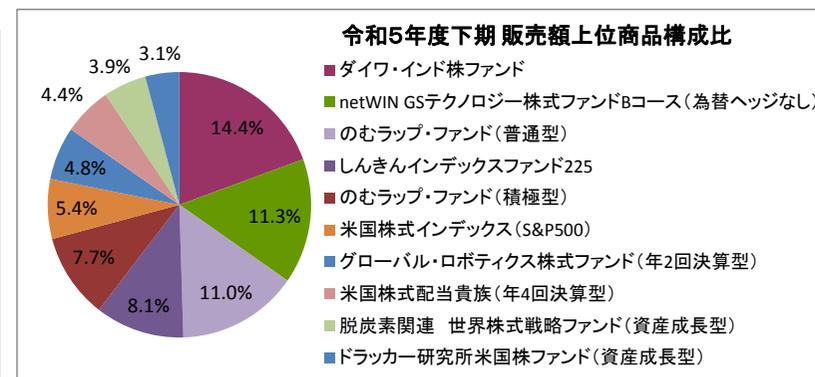
平成30年度下期（30年10月～31年3月）

	ファンド名	運用会社	投資対象	販売額 (百万円)	比率	毎月 分配	コア 商品
1	ゴールドマンサックス社債(国際分散投資戦略ファンド)	アセットマネジメントOne	内外バランス	3,921	53.5%		○
2	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセット	国内株式	876	12.0%		
3	しんきんJPX日経400オープン	しんきんアセット	国内株式	531	7.2%		
4	グローバルAIファンド	三井住友DSアセット	内外株式	482	6.6%	○	
5	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセット	国内不動産	416	5.7%		○
6	のむらっぴ・ファンド(普通型)	野村アセット	内外バランス	178	2.4%	○	
7	新光US-REITオープン(ゼウス)	アセットマネジメントOne	外国不動産	105	1.4%		
8	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	三井住友DSアセット	国内株式	98	1.3%		
9	メディカル・サイエンス・ファンド	アセットマネジメントOne	内外株式	81	1.1%		
10	しんきんJリートオープン(1年決算型)	しんきんアセット	国内不動産	76	1.0%		



令和5年度下期（5年10月～6年3月）

	ファンド名	運用会社	投資対象	販売額 (百万円)	比率	毎月 分配	コア 商品
1	ダイワ・インド株ファンド	大和アセット	外国株式	1,359	14.4%		
2	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックスAM	外国株式	1,070	11.3%		
3	のむらっぴ・ファンド(普通型)	野村アセット	内外バランス	1,045	11.0%		○
4	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセット	国内株式	771	8.1%		
5	のむらっぴ・ファンド(積極型)	野村アセット	内外バランス	726	7.7%		
6	米国株式インデックス(S&P500)	大和アセット	外国株式	512	5.4%		
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興アセット	内外株式	452	4.8%		
8	米国株式配当貴族(年4回決算型)	野村アセット	外国株式	417	4.4%		
9	脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(資産成長型)	三井住友TAM	内外株式	366	3.9%		
10	ドラッカー研究所米国株ファンド(資産成長型)	大和アセット	外国株式	289	3.1%		



※令和5年度下期は市場環境が好調に推移したことから94億円の販売となり、外国株式・内外バランス国内株式等、投資対象も分散した結果となっています。

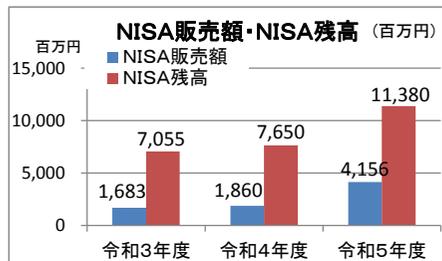
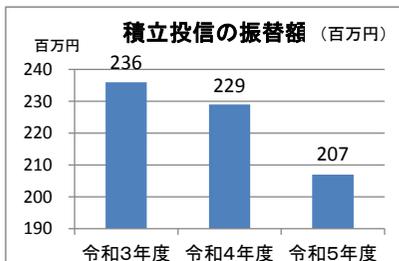
※コア商品…バランス型ファンドを中心とした中長期での運用に適した商品

9. 積立投信(定時定額)の振替額・NISA販売実績・残高の状況(過去3年)

(百万円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
積立投信の振替額	236	229	207
NISA販売額	1,683	1,860	4,156
NISA残高	7,055	7,650	11,380

※積立投信の振替額は毎年度3月の月間振替額  
 ※NISA販売額・残高にはつみたてNISA・ジュニアNISAを含みます

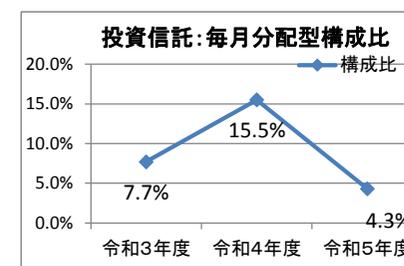
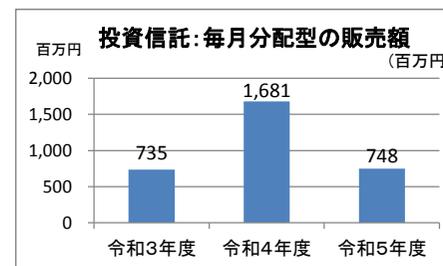
※積立投信の振替額・NISAの状況  
 当金庫では、お客さまの中長期的な資産形成に適した積立投信やNISAの取扱いにも積極的に取り組み、積立投信の令和6年3月の月間振替額は207百万円、NISA残高は11,380百万円となっています。



10. 投資信託の毎月分配型の販売額・構成比(過去3年)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
販売額(百万円)	735	1,681	748
構成比	7.7%	15.5%	4.3%

※NISAを活用する等、資産形成を主な目的としたファンドの販売が増加する一方、毎月分配型の販売額は大きく減少し、その構成比は前年比11.2%減少の4.3%となっています。



11. 投資信託の平均保有年数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均保有年数(年)	5.11	9.73	5.11



※投資信託の購入においては、中長期的な資産形成を目的とした割合が増加する一方、市場環境が好調に推移したことから利益確定を目的とした解約も増加し、平均保有年数は5.11年となりました。

※平均保有期間  
 $(\text{前年末残高} + \text{年度末残高}) \div 2 \div (\text{年間の解約額} + \text{償還額})$

12. お客さまセミナーの開催・参加人数

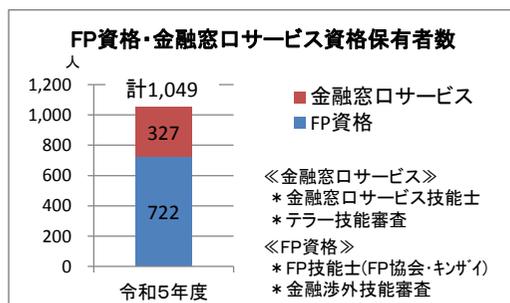
開催日	テーマ・内容	参加人数
令和5年6月22日	① 資産運用と世界経済の“今”	128名
	② 新しいNISA制度について	
令和5年11月12日 *キッズマネースクール	① 親子で楽しく学べる体験型プログラム	69名
	② 子どもたちに「お金の大切さ」「親への感謝」を伝える勉強会	
令和6年1月25日	① 新NISAを活用した資産運用について	119名
	② 新しいNISA対象 新ファンドのご紹介	

※令和5年度のお客さまセミナーについては、WEB会議システムを使用したオンラインセミナー(ライブ配信)を2回実施した他、当金庫で初開催となるキッズマネースクールを開催しました。今後も、お客さまセミナー等をつづじた情報提供に積極的に取組んで参ります。

13. FP資格・金融窓口サービス資格保有者数

(人)	令和5年度
FP資格	722
金融窓口サービス	327
合計	1,049

※今回より、資格を保有している職員の実数の表示に変更しました。(同資格の1級・2級の資格を有している場合は、1人としてカウント)



14. 預り資産に関する研修の受講者数

令和5年度の研修受講者数 3,543名

《主な研修》

- \* 内部管理責任者研修 \* 証券外務員資質向上研修 \* 生命保険継続教育研修 \* 新入職員研修
- \* 保険販売に係るコンプライアンス研修 \* 店内役席預り資産販売研修 \* 店頭セールス力向上研修
- \* 保険アドバイザー研修(保険会社による商品研修等) \* マネーアドバイザー研修(投信会社による商品研修等)

※当金庫では、お客さま本位の業務運営を一段と高めるため、職員に対する継続的な研修等を実施しています。令和5年度においては、証券外務員や生命保険募集人の資格保有者を対象とした研修を中心に実施した他、職員がパソコンやタブレットで視聴できる研修コンテンツを充実させることで職員の能力向上やスキルアップを図っています。※FP資格や金融窓口サービス資格の保有者数は毎年増加し、令和6年4月1日現在の資格保有者数は次のとおりです。  
 \* FP資格:722名 \* 金融窓口サービス技能士:327名 合計1,049名